

◆ 2023 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：彩の国環境大学修了生の会

26A-05

代表者：代表理事・会長 小林 光春

URL : <http://sai-syuryosei.eco.coocan.jp/>

1. 活動が必要とされた状況

当会は、埼玉県が埼玉県環境科学国際センター（加須市、CESS）で毎年開催している「彩の国環境大学」を修了した有志が、学んだ知識や経験を活かした地域貢献等環境活動を行うことを目的として1998年3月に設立した環境団体です。これまで、会全体として、また、4つの部会（地球温暖化防止、化学物質、生活循環資源、自然環境・教育部会）として様々な環境活動に取り組みました。ここ3年はコロナ禍で活動が停滞気味でしたが、今年度から戻りつつあります。多くの県民に化学物質の利便性とリスクを知っていただくため、小学高学年生にも理解できる冊子「化学物質と私たちの暮らし」を作成し、啓発しました。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- (1) 子どもエコフェスティバル 11/11 イオンモール上尾 対象：親子・子供たち
〈内 容〉エネルギー実験装置&自然観察系の体験型工作実技コーナー&活動展示
〈来場人数〉担当ブース：約120人/日(実験及び工作実技等体験参加者)
〈資料置き場コーナー〉化学物質冊子120冊
- (2) ふじみ野市民活動展示・交流会 1/29～2/4日 市役所等
〈来場人数〉担当ブース：①展示会120人②交流会502人
〈内 容〉A1ポスター2枚&A4フォト説明文20枚
- (3) 当会主催 or 他団体との共催等のイベント事業での冊子配布
①7/15～8/16CESS 夏休み特別展示 ②12/2SDGs エコフォーラム
③2/25CESS フォローアップ講座 ④3/3浦和コミセン祭り
- (4) 化学物質冊子：A5印刷カラー12p 2000部/2年で配布完了予定



CESS 夏休み特別展示会



子どもエコフェスティバル



SDGs エコフォーラム



市民活動展示会

3. 活動の成果

- ①コロナ禍で講座の実施が難しかったが、冊子を配布できた。
- ②冊子は、生徒の親たちから構成等も、とても良いと好評。
- ③自主制作ガイドブックを通して当会活動を紹介できた。
- ④講演会や展示会で様々な分野の人達と意見・情報交換できた。
- ⑤昨年度までは、当会への入会説明に苦戦したが、今年度は手ごたえがある。
- ⑥冊子を併用しての活動は行政・学校関係者にも好評だった。

4. 今後に残された課題

①最近では、政府の働き方改革の影響もあり、環境ボランティア団体への加入年齢も高まり、新会員加入も苦戦していて、中々増えない。働きながらも一緒に環境活動ができる仕組み・体制づくりが必要である。

②地域、特に小中学校への環境学習に役立つ人材育成や現会員のスキルを向上させ、活動ツールの充実を図る必要がある。